

要望先：滋賀県土木交通部 交通戦略課

公共交通の利用環境改善に対する補助について 【県への要望】

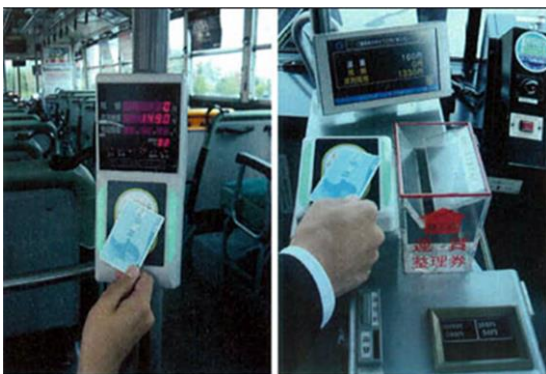
要望内容

国におかれては、公共交通のサービス水準向上と利用環境改善を図るために、全国交通系 IC カードの相互利用が可能なシステム等に要する経費にかかる補助制度を創設いただいているところである。

財源づくりとともに進める交通ビジョンづくりを目指す県におかれても、全国交通系 IC カードの相互利用が可能なシステム等に要する経費にかかる国の補助制度との協調補助を実施していただくとともに、デジタルサイネージ等を用いたバスの案内情報などの利用環境の改善全般に対して、現行の県補助制度の見直しを含めた新たな補助制度の創設について、特段の配慮をお願いしたい。

写真

《ICOCA（交通 IC カード）》



《デジタルサイネージ等を用いた情報提示》



現状と課題

- ・草津市の公共交通は、高齢化の進展と相まって、いわゆる交通弱者の増加や生活行動圏の多様化に対応する移動手段を確保するための交通施策の重要性が高まっており、さらなるサービス水準の向上が必要となっている。
- ・近年、高齢者が関係する交通事故等が多く発生しており、高齢者の運転免許証の返納件数も増加していることから、公共交通の充実は一層必要であり、持続可能な交通体系の構築のため、公共交通の利用環境を整備し、誰もが安心して利用できる公共交通機関にする必要がある。
- ・平成30年10月に策定した草津市地域公共交通網形成計画の基本理念である「誰もがいつでも安心して移動できる持続可能で健幸な交通まちづくり」を実現するためには、交通系ICカードの相互利用化、多言語案内表示、ピクトグラム、デジタルサイネージ等を用いたバスの案内情報などの利用環境の改善全般に対する財政的な支援が必要である。

事業実施による効果

- ・滋賀県が目指す地域交通の姿である「誰もが、行きたいときに、行きたいところに移動ができる、持続可能な地域交通」の実現に結びつく。
- ・利便性を高めることで、持続可能な公共交通の利用環境改善につながる。
- ・バス交通の利便性の向上および活性化が図れていくことで、誰もがいつでも安心して移動できる交通まちづくりを推進し、これからの時代にふさわしい「コンパクト・プラス・ネットワーク」が実現できる。
- ・利用環境を改善することにより、自家用車から公共交通への利用転換が期待できる。

担 当：都市計画部 交通政策課 交通政策係
TEL：077-561-2343

要望先：滋賀県土木交通部 道路整備課

県道の交差点改良による渋滞緩和と歩道未整備区間の交通安全対策について【県への要望】

要望内容

県道の交差点において慢性的な交通渋滞が発生しており、滋賀県道路整備アクションプログラム2023に位置付けいただき、現在取り組んでいただいている下記について、早期に事業を進めていただきたく、特段の配慮をお願いしたい。

① 都市計画道路大津湖南幹線の「矢橋中央」交差点改良

A：矢橋帰帆島方面（県道草津守山線）から大津方面（都市計画道路大津湖南幹線）に進入する右折車線の設置

B：大津方面（都市計画道路大津湖南幹線）から南草津駅方面（都市計画道路矢橋野路線）に進入する右折車線の延長

また、県道の歩行空間整備（歩道設置）についても、特段の配慮をお願いしたい。

② 主要地方道大津草津線の「矢橋中央」交差点から「川の下」交差点まで

位置図・写真

① 矢橋中央交差点改良



② 大津草津線歩行空間整備(歩道設置)



現状と課題

矢橋中央交差点において、右折車線がないため、矢橋帰帆島方面（県道草津守山線）から大津方面（都市計画道路大津湖南幹線）への右折車両が並ぶと、守山方面への左折車両および南草津駅方面への直進車両が停滞し、交通渋滞が発生している。

近江大橋の無料化等により、矢橋中央交差点の大津方面（都市計画道路大津湖南幹線）から南草津駅方面（都市計画道路矢橋野路線）への右折車両が多いにもかかわらず、交差点の右折車線長が短いため、守山方面への直進車線まで影響し、交通渋滞が慢性化している。

大津草津線について、歩道未整備の区間があることから、歩行者の安全対策が必要である。

事業実施による効果

- 1 当該整備により、県道や市道の交通渋滞緩和を図ることができる。
- 2 交通状態緩和により、交通事故減少につながる。

担 当：建設部 土木管理課 国県事業推進係
TEL：077-561-1501

要望先：滋賀県土木交通部 道路整備課

子ども達が安全に通学や活動ができる道路整備について【国への要望】

要望内容

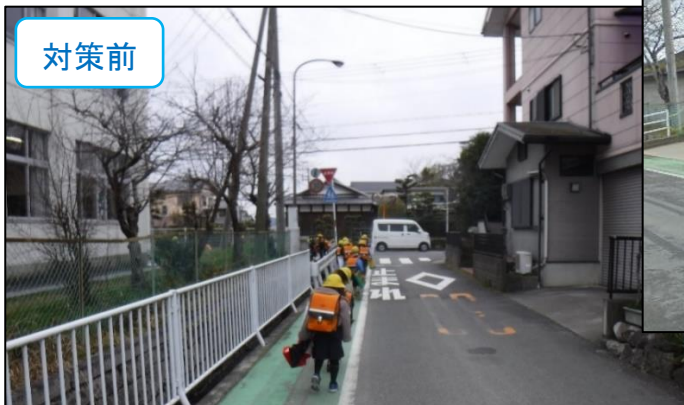
本市では、草津市通学路等安全対策実施プログラムに基づき、地域と一体となって潜在的な危険箇所を把握しながら通学路や未就学児移動経路における交通安全確保のための道路整備事業に取り組んでいる。

こうした中、令和元（2019）年には、滋賀県大津市の交差点で園児を巻き込んだ事故、令和3（2021）年には千葉県八街市で小学生を巻き込んだ事故が発生し、交差点等における安全対策が全国的な問題となっており、当該事業による交通安全対策を早期に推進する必要がある。

引き続き、財政面での支援を国に働きかけていただきたく、特段の配慮をお願いしたい。

写真

市道 志那中下物線での対策事例（令和4年度）



◆隣接する小学校・こども園の通学路・集団移動経路の安全対策を実施



現状と課題

全国的な人口減少傾向のなかで、本市においては現在も人口が増加し続けており（令和4年度の対前年度人口増加比率1.07）、児童数は約8,400人に達し、平成28（2016）年4月には小学校1校が新たに開校されたところである。

こうした中、児童生徒を巻き込んだ交通事故は毎年発生しており、令和元年には、滋賀県大津市の交差点で園児を巻き込んだ事故、令和3（2021）年には千葉県八街市で小学生を巻き込んだ事故が発生し、全国的に取り上げられている。

また、地域や学校、保護者からも登下校時の安全確保を図るための道路環境整備に関する要望が増えており、早急な対応が求められている。

通学路等における通行空間の整備には多額の経費を要するため、事業を円滑に推進するためには、社会資本整備総合交付金要望額を確保していただく必要がある。

事業実施による効果

通学時等における子ども達の安全が確保され、交通事故の削減につながるとともに、万が一、重大な事故が発生した際においても、被害の軽減につながり、これからの日本の未来を担っていく尊い命が守られることとなる。

担 当：建設部 道路課 管理用地係
TEL：077-561-2390

要望先：滋賀県土木交通部道路保全課、都市計画課

公共施設の適切な維持管理に対する支援について 【国への要望、県への要望】

要望内容

道路橋梁や舗装、公園など日常生活に不可欠な公共施設について、老朽化が進んでおり、ライフサイクルコストを踏まえた効率的な維持管理を行っていくためにも、点検や修繕について継続的に取り組む必要があるが、地方自治体の負担は極めて大きくなっている。このため、引き続き、国および県からの財政面、技術面での支援が必要であり、国に働きかけていただきたく、特段の配慮をお願いしたい。

写真

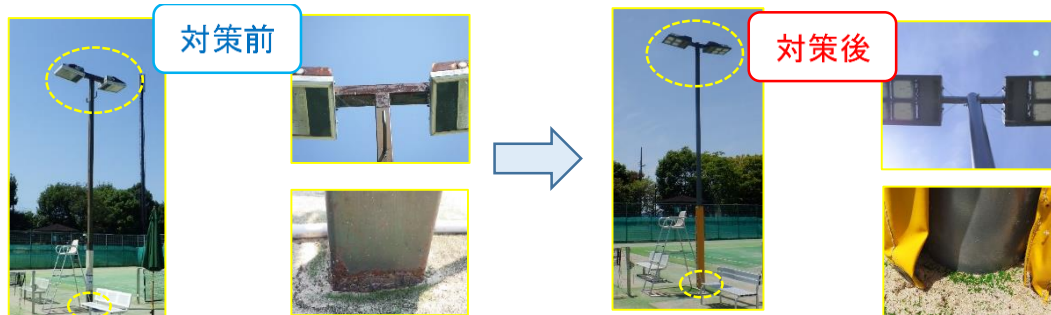
<道路橋梁の例>

◆定期点検結果を基に、計画的に修繕を実施（写真は令和4年度施工事例）



<遊具施設等の例>

◆定期点検結果を基に、計画的に更新等を実施（写真は令和4年度施工事例）



現状と課題

地方自治体の管理する施設について、老朽化が急速に進行しており、道路橋梁や舗装、公園など、施設の老朽化等を原因とする施設の損傷や機能の低下が全国的に発生している。

このため、予防保全を踏まえた維持管理・更新を合理的かつ効果的に行い、安全性の確保が必要であるが、老朽化対策の確実な実施のためには、適正な管理と予防保全を踏まえた継続的な予算の確保や、技術的支援が必要である。

事業実施による効果

施設の点検や修繕について継続的に取り組み、安全性の確保や予防保全を踏まえた効率的な計画の作成および更新を行うことで、維持管理コストの縮減を図ることが可能となり、維持管理水準も高まることにつながる。

担 当：建設部 道路課 管理用地係 TEL：077-561-2390
公園緑地課 整備係 TEL：077-561-6963

要望先：滋賀県土木交通部 都市計画課

都市計画道路大江霊仙寺線の整備に係る支援について 【国への要望】

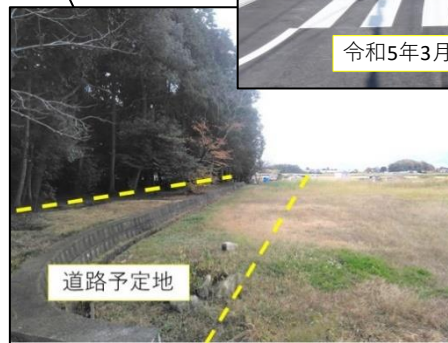
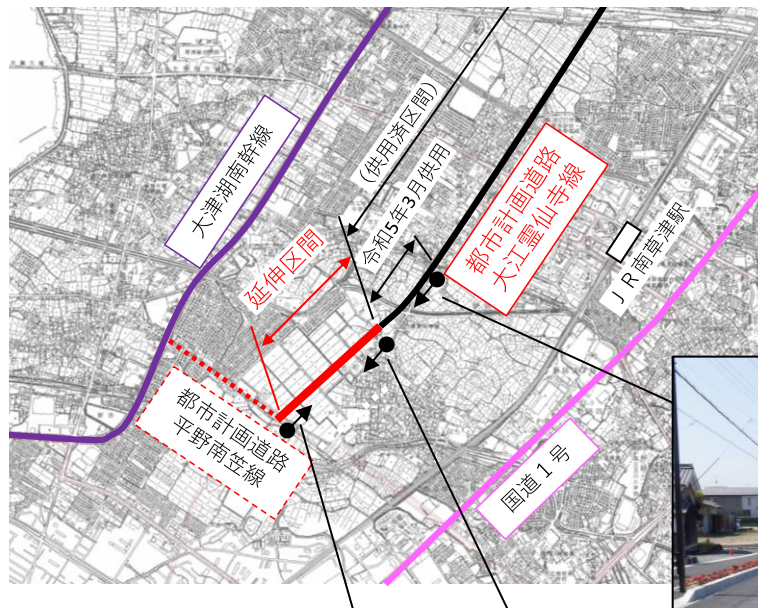
要望内容

都市計画道路大江霊仙寺線は、大津湖南都市計画において隣接する市域間を南北に結ぶ幹線道路であるとともに、国道1号や大津湖南幹線といった主要幹線道路の補助幹線としての機能を併せ持つ重要な道路である。

令和5年（2023）3月に一部区間を供用したところであり、当該道路のストック効果を早期に発揮すべく、引き続き次年度以降も延伸予定区間の事業進捗が図れるよう支援を国に働きかけていただきたく、特段の配慮をお願いしたい。

位置図・写真

※ 道路計画位置を赤色で示しています。



現状と課題

滋賀県の南部地域は、京阪神および東海を結ぶ交通の要所であり、国の基幹道路である国道1号は、草津市域において交通量が約5万台/日（平成27（2015）年度道路交通センサス結果）にもおよび、交通渋滞が慢性化している状態である。このことに対応するため、国道1号の渋滞対策機能を持つ当該路線の整備が急務となっている。

令和4（2022）年度に草津市都市計画道路整備プログラムを策定し、優先度の高い大江霊仙寺線および平野南笠線の一部区間について、今後10年間の整備推進を位置付けたところである。また、当該道路の一部区間を令和5年（2023）3月に供用したことからも、ストック効果を早期に発揮させるべく、本事業を計画的に推進していくには、社会資本整備総合交付金要望額の確保が課題となっている。

事業実施による効果

- 1 大津・湖南地域における慢性的な交通渋滞の緩和に大きく貢献できる。
- 2 国道1号の交通渋滞解消および産業・商業の基盤整備の促進を図ることにより、経済効果の増大が期待できる。

担 当：建設部 道路課 管理用地係

TEL：077-561-2390

一般要望（継続）

要望先：滋賀県土木交通部 都市計画課



地域の交流と経済活動の活性化を支えるみちづくりの支援について（市道大路野村線の整備）【国への要望】

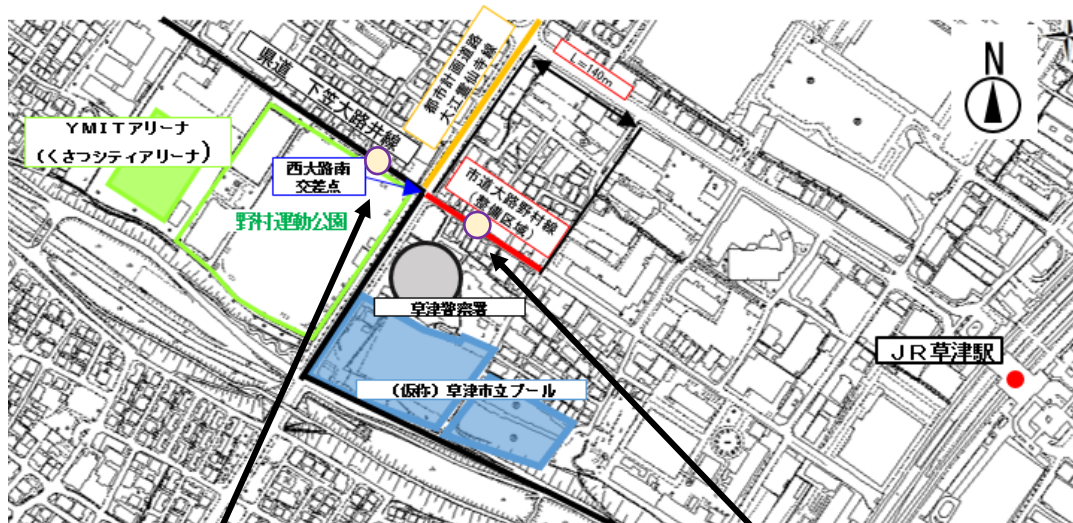
要望内容

市道大路野村線の整備については、西大路南交差点において、都市計画道路大江霊仙寺線に流入する車両の交通渋滞が慢性化している。加えて、令和7（2025）年に「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」の開催が控えている。このため、歩道や右折レーンを早期に整備し、歩行者の安全や渋滞解消を図る必要がある。

本市としては、事業の進捗状況を踏まえ、引き続き、用地買収、損失補償、道路整備工事を行う計画としており、事業の進捗を図るため、予算の確保が必要である。

令和5（2023）年度については、予算の確保をいただいております、引き続き、次年度以降も、国に働きかけていただきたく、特段の配慮をお願いしたい。

位置図・写真



西大路南交差点の交通状況



現状と課題

市道大路野村線については、大江霊仙寺線へ流入するための右折車両が多いにもかかわらず、交差点の右折レーンが無く、直進および左折車両が右折車の影響で停滞しており、交通渋滞が常態化している。

現在、近辺に位置する野村運動公園（YMITアリーナ）や草津警察署へのアクセス道路として活用され、加えて、令和7（2025）年度の「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」においても活用される（仮称）草津市立プールの整備を進めており、市道大路野村線を利用する歩行者等のさらなる増加が予想される。

このことから、歩道や右折レーンを早期に整備し、歩行者の安全や渋滞解消を図る必要がある。

さらに、先線の県道下笠大路井線についても交通渋滞が慢性化しており、交差点改良について、県が事業を進めている。このことから、効果的な交差点の改良を行うため、継続的な道路整備が必要である。

事業実施による効果

- 1 当該整備により、県道や市道の交通渋滞緩和を図ることができる。
- 2 国スポ・障スポ会場となる施設等への円滑な交通アクセスの確保、歩行者、車両の交通環境の改善、安全性の確保となる。

担 当：建設部 道路課 管理用地係
TEL：077-561-2390

一般要望(継続)

要望先：滋賀県土木交通部 住宅課



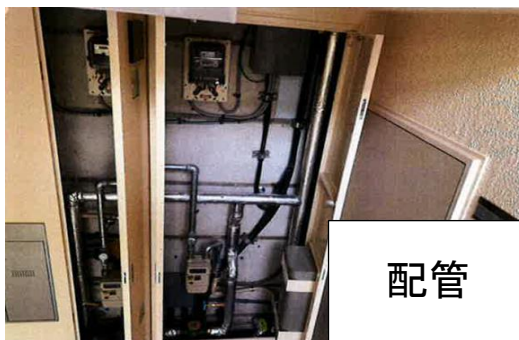
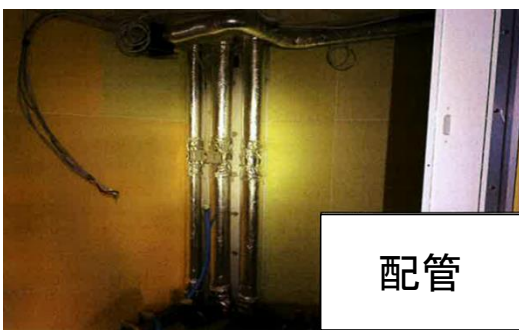
ときわ 常盤団地長寿命化事業への支援について【国への要望】

要望内容

市営常盤団地は、建築から40年以上が経過し、建物および配管等の劣化が著しい状況であり、令和3(2021)年度から防災安全交付金を交付いただき、耐震性の向上を含む長寿命化改修工事を順次実施している。

高齢の入居者等の仮移転を伴う複数年に渡る事業であり、円滑な事業実施が図れるよう交付金要望額の重点的な確保について、国に働きかけていただきたく、特段の配慮をお願いしたい。

改修後



現状と課題

市営常盤団地については、基本的な耐震性はあるものの、築40年以上が経過し、入居者の高齢化とともにストックの老朽化も著しい状態であることから、草津市国土強靱化地域計画に基づき、早急な耐震性の向上等の長寿命化対策が求められている。

長寿命化工事は、入居したまま実施することが出来ないため、高齢な入居者等に仮移転および本移転をお願いする必要がある。

入居者に複数回の転居を求める事業であり、入居者の生命財産を守る観点から着実な事業実施が求められている。

事業実施による効果

老朽化が進む公営住宅について、適切に耐震性の向上を含む長寿命化対策を行うことにより、高齢化が進み、公営住宅等への居住ニーズが高まる中、適切に高齢者等の住宅確保要配慮者等の居住の安定と集住を進め、住宅に困窮される市民に対し、平時・有事を問わず安全で快適な住まいの供給が可能となる。

担 当：建設部 住宅課 住宅管理係

TEL：077-561-2395